

令和5年度医師派遣要望調査の概要

病院別医師派遣希望数

	1	2	3	4	5	派遣希望人員
日立総合病院	血液腫瘍内科 2名	呼吸器内科 1名	緩和ケア科 1名	耳鼻咽喉科 1名	放射線腫瘍科 1名	6
高萩協同病院	内科 2名	産婦人科 2名	麻酔科 2名	外科 2名	脳外科 1名	9
北茨城市立病院	内科または総合診療科 常勤 2名 非常勤 0.2名					2

派遣優先順位上位の状況

要望病院名	日立総合病院		高萩協同病院		北茨城市立病院
派遣優先順位	1	2	1	2	1
派遣を求める診療科	血液内科	呼吸器内科	内科	産婦人科	内科または総合診療科
R5.4.1現在の医師数	常勤 5	常勤 5	常勤 2 非常勤 1.1	常勤 3 非常勤 2.3	常勤 6 非常勤 0.1
派遣要望人数	常勤 2	常勤 1	常勤 2	常勤 2	常勤 2 非常勤 0.2
具体的な要望理由・派遣の必要性等	<p>2023年度末で2名減の予定。現状レベルを維持するためには2名の補充が必要であるが、まったく補充がない場合は、残る3名（うち1名はローテーターのため不確定）の診療体制となるため病床数の変更等、患者受け入れ態勢に大きな変更が必要となる。</p> <p>R4 1日平均外来患者数 42名 （1名派遣の場合は半数程度の見込み）</p> <p>1日平均入院患者数 29名 （1名も派遣がない場合は大幅な見直しが必要）</p>	<p>2023年度末に1名減の予定。特に常勤医のうち1名は、フルシフトでのオンコール対応が困難。現状の時間外勤務実績も考慮すると3名のオンコール体制は不可能。フルシフトでオンコール可能な医師1名の補充が必要。</p> <p>R4 外来患者数/日 49名 （1名派遣で現状維持）</p> <p>1日平均入院患者数/日 32名 （1名派遣で現状維持）</p>	<p>2023年9月末で1名減の予定。救急車を年間1000台（ほぼ外傷）を受け入れ、そのうち38%が入院。外傷で整形外科入院となってもほぼすべて高齢者であるため、内科医師の管理が必要である。外来を実施しながら病棟管理、また夜間休日の呼び出しに対応するため、2名の常勤医では疲弊するばかりで内科常勤が長続きしない。</p> <p>急性期受け持ち1人10人以下、病棟回診・オンコールのためにあと2名の補充が必要。</p>	<p>2023年6月末で1名減の予定。年間322件の分娩（R4実績）対応並びに宿日直継続がきわめて困難な状況になってきた。</p> <p>7月から日立総合病院から2次派遣として週に2人が派遣されることとなったが、宿直については未定。分娩を維持していくためには2名補充が必要。</p>	<p>現在の体制で医師の働き方改革を遵守するためには、2次救急の制限または一般外来等の縮小を実施せざるを得ない。</p> <p>近隣の医療機関の閉鎖や医療体制の縮小、高齢化率の更なる上昇もあり、救急受け入れ件数は令和3年度比1.5倍（1458件）となっている。</p> <p>通常診療及び2次救急対応を縮小することなく継続し、医師の働き方改革A水準維持しつつ地域医療体制を堅持するには内科または総合診療科の2名補充が必要。</p>